

2026～2027 SHIKI WEEKLY

国際ロータリー 第2570地区 第2グループ



持続可能な
インパクトを
生み出そう

志木ロータリークラブ

2026-27年度 国際ロータリー 会長 オラインカ・ハキム・ハバロラ 「CREATE LASTING IMPACT」
2026-27年度 第2570地区 ガバナー 原島 生慈 「ロータリー活動に誇りを！」
2026-27年度 志木ロータリークラブ 会長 國分 学 「志木 SHIKIプライド」

第2475回 例会

2026-7-22

- ◎司会 末富 啓道 副会長
- ◎点鐘 國分 学 会長
- ◎ソング それでこそロータリー
- ◎ソングリーダー 高嶋 英一 会員
- ◎四つのテスト 高嶋 英一 会員
- ◎ゲスト 渡邊 美月 様(グローバル補助金
奨学候補生)
- ◎ゲスト 茂木 聡 様(ロータリー財団統括副
委員長/本庄 RC)
- ◎ゲスト 中村 和子 様(志木おやこ劇場)



ました、3名のスピーチをお届けします。

「金融のプロ」である埼玉りそな銀行志木支店支店長 佐藤豊名誉会員。

「高圧電線の電気工事のプロ」である株式会社山三電業 代表取締役の井口隆志会員。

「中小企業診断士、行政書士のプロ」である株式会社エリア・パブリック・コンサルティング 代表取締役の鵜頭誠会員。

それぞれ全く異なる業界の一線で活躍されているメンバーです。

ロータリークラブは、大人が仕事の肩書きを忘れて本音で語り合える「人間塾」です。ですから今日は、難しい仕事の話だけでなく、実は「こんな性格です!」といった、素顔やプライベートな魅力もたくさんお聞きしたいと思っています。

さて、私たちの地元・志木市も6月21日八坂神社夏祭り、宿組を皮切りに 下組、中組と続き、そして先週は敷島神社祭典で締めくくり、志木市がたいへん盛り上がった1か月間となりました。迫力満点のお神輿、華やかな民謡流し、そして街中に響き渡るお囃子



ソングリーダー・四つのテスト 高嶋 英一 会員

「会長挨拶」会長 國分 学

皆様、こんにちは!久々の食事付きの昼例会となります。本日も、お仕事の合間を縫っての例会へのご出席、本当にありがとうございます。そしてオンライン参加者の皆様もありがとうございます。

さて、本日のメインイベントは、何と言っても新会員の皆様による「イニシエーションスピーチ」です!今月7月にご入会いただき

7 月 は 「 母 子 の 健 康 月 間 」 で す

の音。あの熱気を見ていると、「やっぱり志木の街は元気があるな！」と、改めて志木市のプライドを感じます。

そして来週の水曜日、7月29日はもう一つの「イベント」がやってきます。原島生慈ガバナーをお迎えしての「ガバナー公式訪問・クラブ協議会」です。先週、ガバナー補佐の松岡昌宏様をお迎えして、たくさんの心強いアドバイスをいただきました。来週は、私たちが磨き上げてきた『志木 SHIKI プライド』、そして新しい3名の仲間を温かく迎えてさらにパワーアップした姿を、ガバナーにしっかりとアピールする時です。来週は14時40分までの少し長い昼例会になりますが、ぜひ皆さま日程調整いただき、「全員出席」で原島ガバナーを賑やかに迎えたいと思います。

連絡は入っているとは思いますが入会三年未満の会員は、11:15にお集まりください。原島ガバナーとの懇談があります。

それでは、本日、イニシエーションスピーチの三名の方どうぞ肩の力を抜いて、いつも通りの笑顔でお話ししてください。

本日も、笑顔あふれる楽しい例会にしていければと思います。以上、会長挨拶といたします。ありがとうございました！

「ご挨拶」

ゲスト紹介

遠藤 貴博 会員

本日は次年度ロータリー財団グローバル補助金奨学候補生の渡邊美月さんをお連れいたしました。彼女はアフリカのマラウイの JICA に勤めており、今年は大学に復学され、再度勉強をするために留学の手段を進めております。志木クラブがスポンサークラブとしてお預かりしますので、皆さんよろしくお願い致します。

ゲストご挨拶

渡邊 美月 様



この度、2027 - 28 年度グローバル補助金奨学候補生となりました渡邊美月と申します。志木ロータリークラブの皆様、この度はスポンサークラブをお引き受けいただきまして誠にありがとうございます。皆様とのご縁を大切にしながら、ロータリーの精神や、地域社会との深い関わりについて深く学ばせていただけたらと思います。どうぞよろしくお願い致します。

「お願い」 志木おやこ劇場 代表 中村和子様



「子どもライブフェスタ 2026 in 志木市」への協賛のお願い

①日時：11月23日(月)13:00～ 14:30～

場所：宗岡第四小学校体育館

公演内容：りさ&たつ二人の紙芝居ショー
段ボールで秘密基地をつくろう

②日時：12月6日(日)11:00～

場所：宝幢寺東雲閣

公演内容：人形劇「きんぎょがにげた」

協賛金額：事業者 一口 5,000 円 (何口でも)

個人 一口 1,000 円 (何口でも)

募集期間：事業者 7月1日～8月15日

個人 7月1日～10月15日

皆様のおかげでこの企画ができております。今年もご協力をお願いいたします。

「委員会報告」

●クラブ会報委員会

委員長 神山 威仁

志木ロータリークラブのHPの会員専用ページにて、今年度の年度計画書が閲覧可能になりました。後日メールにてログインIDとパスワードを送りますので、ご活用ください。

7 月 は 「 母 子 の 健 康 月 間 」 で す

●青少年奉仕委員会 委員長 西川 和人
敷島神社の祭礼で行われました非行・薬物乱用防止キャンペーンに國分会長をはじめ、青少年奉仕委員の皆様を中心にご参加をいただきまして、本当にありがとうございました。

また、8月2日(日)のインターアクトクラブの年次大会が狭山ヶ丘高校で開催されます。西浦会員が委員長を務めておりますので、お時間ある方は応援に行きましょう。



「 卓 話 」

「イニシエーションスピーチ」

佐藤 豊 名誉会員



このたび、歴史ある志木ロータリークラブの名誉会員としてお迎えいただき、このような貴重な機会をいただきましたこと、心より感謝申し上げます。本日は、私自身のこれまでの歩みと、志木支店長として、埼玉りそな銀行として目指していきたいことについてお話しさせていただきます。

私は 1976 年 9 月 19 日、北海道で生まれました。祖父は北海道で林業に携わっていましたが、父は五男だったこともあり、札幌に出てサラリ

ーマンとなりました。2 歳まで札幌で過ごした後、父の転勤で埼玉県浦和市、現在のさいたま市へ移り住み、以来、幼稚園から大学まで埼玉で過ごしました。

大学時代には、現在も西浦和にあるレストランで 4 年間、深夜のアルバイトを経験し、料理も覚えました。また、大学 1 年生の頃から付き合い始めた妻とは長い年月を共に歩んでおり、現在は一人息子にも恵まれています。北海道生まれではありますが、今では「埼玉出身」と名乗ることが多くなりました。

2001 年に大学を卒業し、あさひ銀行に入行しました。当時は金融業界が大きく変化していた時代で、入行翌年にはあさひ銀行と大和銀行の経営統合が発表され、2003 年には埼玉りそな銀行が誕生しました。その直後には公的資金の注入が決まり、銀行は大変厳しい状況に置かれました。多くの先輩や同僚が退職し、厳しい環境の中で、私自身も転職を考えた時期がありました。しかし、このような経験は二度とできないと思い、埼玉りそな銀行に残る決断をしました。

その後、東京、名古屋、神奈川などの支店を経験し、地域の清掃活動などにも参加してきました。銀行が厳しい状況にあった当時、お客様から厳しい言葉をいただく一方で、「大丈夫だ、頑張れ」と温かい声をかけていただくこともありました。特に志木りそな会の皆様には、埼玉りそな銀行の再建を支えていただいたという強い感謝の思いがあります。

私にとって大きな転機となったのが、埼玉大学への出向です。産学連携、大学基金、自治体や企業との連携、新規事業の立ち上げ、起業家教育やリカレント教育など、銀行業務とは異なるさまざまな仕事に携わりました。そこで学んだのは、金融という枠を超えて、人や企業、地域をつなぎ、課題解決に取り組むことの大切さでした。

これまで私は、目の前の人や仕事に対して、自分の力不足を自覚しながらも、常に全力で向き合うことを心がけてきました。多くの素晴らしい方々との出会いに恵まれたことが、今の自分につながっていると感じています。これからも「一期一会」のご縁を大切に、一つひとつの出会いに全力を尽くしていきたいと思います。

志木支店長として、3 年後、5 年後、10 年後の

7 月 は 「 母 子 の 健 康 月 間 」 で す

埼玉りそな銀行志木支店の姿をしっかりと描きながら、これまでいただいたご恩を地域の皆様にお返しする気持ちで、志木の発展に貢献してまいります。今後とも変わらぬご支援、ご愛顧を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

「イニシエーションスピーチ」

井口 隆志 会員



7 月より新会員になりました井口隆志です。

本日は、生い立ちから現在までを振り返りながら、私自身をご紹介させていただきます。

私は 1970 年 11 月、千代田区 岩本町で生まれました。三人兄弟の次男として育ち、幼い頃は野球が大好きな、とても活発な子供でした。父と母は厳しくも温かく、多くのことを教えてくれました。特に「人との約束を守ること」「感謝の気持ちを忘れないこと」は、幼い頃から繰り返し教えられ、今でも私の行動の基本となっています。

学生時代にはアメリカへ留学し、異なる文化や価値観の中で生活する貴重な経験をしました。慣れない環境で多くの人と出会い、互いの違いを受け入れること、失敗を恐れず一歩を踏み出すこと、そして人とのつながりを大切にすることを学びました。この経験は、私の視野を広げ、その後の人生を支える大きな財産となっています。

現在は妻と二人の息子、その家族に囲まれ、にぎやかな日々を送っています。我が家は「よく食べ、よく飲み、よく語る」家族です。忙しい日々の中でも家族と過ごす時間が、私にとって何よりの活力であり、心を整える大切な時間となっています。

仕事では食品業界時代に、北米、ヨーロッパ、

アジア諸国など、多くの国を訪れる機会をいただきました。文化や商習慣は違っても、「信頼は誠実な行動から生まれる」ということは世界共通であり、この学びは現在の経営にも生かされています。

現在は株式会社山三電業の代表取締役として、送電設備の建設・保守を通じて社会インフラを支える仕事に携わっています。社員一人ひとりが誇りを持って働ける会社を目指し、「誠実・感謝・尊重」を大切な価値観として、日々経営に取り組んでいます。

最後に、ロータリークラブとのご縁についてお話しします。私がロータリークラブに親しみを感じるようになったのは、義父である山口幸造さんの存在があったからです。学生時代から幸造さんの娘とお付き合いをしていたこともあり、ロータリーの活動や地域への奉仕について、さまざまな話を聞く機会がありました。地域のために力を尽くし、多くの仲間と信頼関係を築いている姿は、私にとって尊敬する人生の先輩の姿そのものでした。

これからも一つひとつの出会いを大切に、ご縁を紡ぎながら、ロータリークラブの一員として地域社会に貢献するとともに、活動を通じて自分自身も成長していけるよう努めてまいります。

「イニシエーションスピーチ」

鵜頭 誠 会員



皆様、本日は貴重なお時間をいただき、ありがとうございます。中小企業診断士として活動しております鵜頭誠と申します。

私の主な仕事は中小企業の経営支援ですが、その中でも商店街支援が大きな割合を占めています。2011 年に中小企業診断士に登録して

7 月 は 「 母 子 の 健 康 月 間 」 で す

以来、東京都内をはじめ、横浜市、志木市など、さまざまな地域の商店街の活性化に携わってきました。「TOKYO キラリと光る商店街」というシリーズの共著を 2 冊執筆したほか、国の商店街表彰事業に関する執筆にも携わっています。また、持続化補助金の申請支援や企業の経営顧問、新規事業の企画、人材育成などにも取り組んでいます。

商店街支援では、行政との連携も重要な仕事の一つです。横浜市の商店街伴走支援事業では企画段階から関わり、東京都北区では商店街連合会のコーディネーターとして、区内約 52 商店街を年間 140 回ほど巡回しています。現在は、志木市のいろは商店会で総務理事も務めています。

私がこれほど商店街にこだわる原点は、子どもの頃の経験にあります。私は千葉県船橋市で育ち、当時は商店街のおもちゃ屋に通い、本屋で「少年ジャンプ」を買い、文房具店やスーパーにもよく足を運んでいました。しかし、成長するにつれて、かつて親しんだ店が次々と閉店し、商店街の姿が変わっていくのを目の当たりにしました。大切だった人との交流や思い出の場所が、いつの間にか忘れられてしまうことに寂しさを感じたことが、現在の商店街支援につながっています。

私自身、父方の実家が新潟県見附市で 120 年以上続く和菓子屋を営んでいることもあり、商店街とは深い縁があります。志木に住むようになったのは、妻が坂戸市出身だったことがきっかけでした。子育て環境の良さに魅力を感じて住み始め、地域のお祭りで商工会青年部の皆さんが活躍する姿を見て、志木というまちが大好きになりました。

志木には、今も活気ある商店街が残っています。その魅力を次の世代につなぐため、現在は「いろはベース」という地域の新たな拠点づくりにも携わっています。創業相談や販売棚、スペースの貸し出しなどを通じて、地域の方が新しいことに挑戦できる場をつくっていく予定です。

志木には、住んでいても普段は都内で働き、買い物や交流も都内で済ませる「志木都民」と呼べる方も多いと思います。そうした方々が地域に触れ、関わり、志木をもっと好きに

なっていくことで、「志木市民」としてのつながりが生まれていく。そんなまちづくりに貢献することが、私の目指すところです。

これまで培ってきた商店街支援の経験を志木の地域づくりに生かし、志木の商店街がこれからも人と人をつなぐ場所であり続けられるよう、微力ながら尽力してまいります。今後とも皆様のご支援、ご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

(紙面の都合上、一部内容を編集のうえ掲載しております)



7 月 は 「 母 子 の 健 康 月 間 」 で す

歓迎 原島生慈ガバナー公式訪問
7月29日



国際ロータリー第 2570 地区
2026-27 年度ガバナー
原島 生慈(秩父RC)

※2570地区のHPから転載させて頂きました